



安心して暮らせる、中・長期修繕計画を ＝市のマンション管理適正化推進計画＝

マンションが次々と建設され、その居住者が増加してきています。さらに、数年後には建てられてから40年を超える建物が大半を占めるようになります。よってマンション管理のあり方が注目されてきています。

当マンションも、今年で築35年目を迎えます。管理組合の運営はもちろんのことながら、建物などの設備・備品の管理、管理費や修繕

積立金などの管理と長期修繕計画の検討・見直しなどが求められます。

市では、各マンションの適正な管理のための計画をすすめています。管理組合は、今後皆様のご意見等をいただきながら、管理のあり方を検討・見直しをはかり、適正な管理運営を実現していきます。

春の輪投げ大会(仮称)を開きます ＝4月に予定、詳しくは後日ご案内＝

春に輪投げ大会を計画しています。親睦・交流を目的とした楽しいイベントになりますようお願いしています。子どもだけでなく大人も一緒に楽しめるような企画を考えています。



暮らしのメモ帳

消費者庁の調査によりますと、浴槽での溺水による死亡者数が年々増加の傾向にあります。特に冬季に約7割が発生、高齢者が大半を占めています。冬季に多発する入浴中の事故に注意しましょう。

◆入浴前に脱衣所や浴室を温めること◆湯温は41度以下で、湯につかる時間は10分までを目安に◆浴槽から急に立ち上がらない◆食事直後、飲酒状態での入浴は控える◆精神安定剤、睡眠薬服用直後の入浴は危険◆入浴前に家族に声をかけて、見回ってもらう

詳しい内容や日時などは、後日ご案内いたします。

水漏れ・詰まり対策＝日頃から点検を

シンク・洗面台の異臭、床の湿りなどは、危険信号



2年前まで数回起きていた水漏れ事故は、このところ起きておらず、安心・安全な暮らしができております。皆様の日頃の秩序ある生活のお陰と感謝申し上げます。

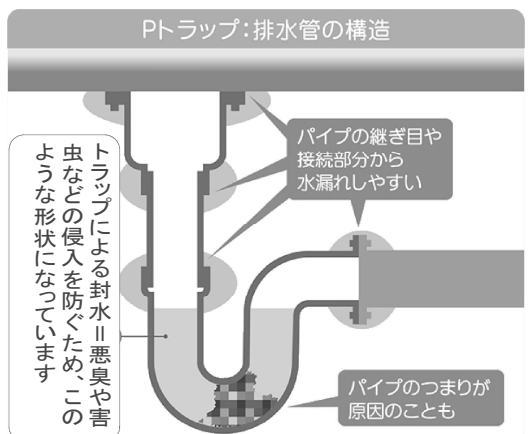
事故は、突然、予告なく起きます。そして、確実に下の階に迷惑をかけます。日頃からの点検が何より大切です。熱湯をひんぱんに流さない、流し下のパイプ(トラップ接続)に物をぶつけない、廃油やゴミを流さない、蛇口の操作はやさしくしましょう。

万が一の事故には、5万円の免責で自己負担が発生します。日頃の点検を欠かさずに行いましょう。

ご利用ください

〈エアポンプ(空気入れ)を購入しました〉
普段から自転車を利用するのに、空気入れは欠かせません。皆様からのご要望がありましたので、新品を購入しました。

利用するときは、ていねいに扱い、皆で長く使えるようにしましょう。



新刊図書を購入しました（自治会）

お気軽にご利用ください＝ミニ図書館と新書のご紹介

集会室のミニ図書館に、話題の本を購入し、皆さんに楽しんでもらっています。直木賞、芥川賞、本屋大賞、ノンフィクション大賞を受賞した作品を主として購入します。

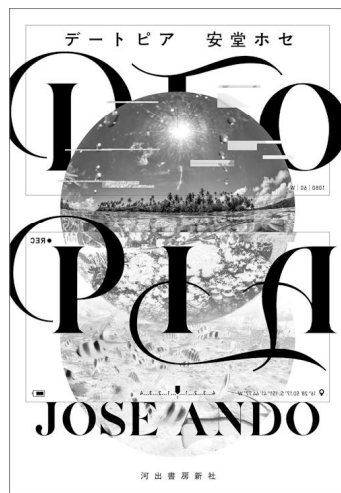
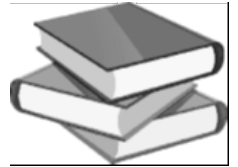
集会室の蔵書はおおよそ2,000冊以上。小説はもちろん、マンガから図鑑など様々なジャンルの書籍が並んでいます。

皆さん、お気軽に足をお運びください。

「図書カード」で管理 ～図書の貸し出し～

集会室の図書は、貸し出しています。

- ① 「図書カード」に、お名前と書名、返却予定日を記入します。
- ② 記入した「図書カード」を、専用ファイルにとじて、本を借ります。
- ③ 本を返したら、「図書カード」をファイルからはずして持ち帰ります。お名前などの個人情報に残りません。（保護されます）

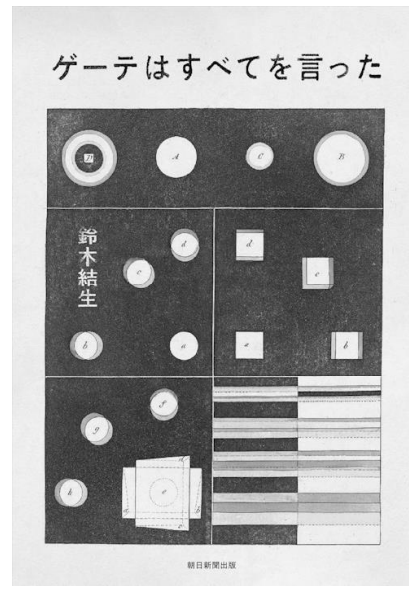


D'TOPIA (クトピア) 安堂ホセ(著)
恋愛リアリティショー「D'TOPIA」新シリーズの舞台はボラ・ボラ島。ミニユニバースを巡って Mr.LA、Mr.ロンドン等十人の男たちが争う――時代を象徴する圧倒的傑作、誕生！
第12回芥川賞受賞作

安堂ホセは、物語の磁石を持っている。現実世界で排除された不都合で不穏でヤバイ砂つぶてのような言葉を、暴力と倫理の磁石で吸い寄せ、反発させ、交渉させ、渦巻かせる。あらゆる倫理が覆され、暴力が吹き荒れている今、「暴力から暴を取りはずす旅」の物語が出現したことは、一つの事件だ。

読もう！ 旅立とう！ 旅によつて運ばれるのは、あなた自身だ。

ゲーテはすべてを言った 鈴木結生(著)
【第12回芥川賞受賞作】
高明なゲーテ学者、博覧強記の一家団欒のディナーで、彼の知らないゲーテの名言と出会う。ティール・バッグのタグに書かれたその言葉を求めて、膨大な原典を読み漁り、長年の研究生活の記憶を辿るが……。ひとつの言葉を巡る統一の旅は、創作とは何か、学問とは何か、という深遠な問いを投げかけながら、読者を思いがけない明るみへ誘う。若き才能が描き出す、アカデミック冒険譚！



藍を継ぐ海 伊与原 新(著)
第12回直木賞受賞！
数百年先に帰ってくるかもしれない。懐かしい、この浜辺に――。
徳島の海辺の小さな町で、なんとかウミガメの卵を孵化させ、自分ひとりの力で育てようとする、祖父と二人暮らしの中学生の女の子。年老いた父親のために隕石を拾った場所を偽ろうとする北海道の身重の女性。山口の見島で、萩焼に絶妙な色味を出すという伝説の土を探す元カメラマンの男。長崎の空き家で、膨大な量の謎の岩石やガラス製品を発見した若手公務員。都会から逃れ移住した奈良の山奥で、ニホンオオカミに「出会った」ウェブデザイナーの女性――。人間の生をはるかに超える時の流れを見据えた、科学だけが気づかせてくれる大切な未来。『宙わたる教室』『月まで三キロ』『八月の銀の雪』の著者による、心揺さぶられる全五篇。

